

津房地区の皆様へ
まちづくり協議会の事務局は
月・火・木の週三日開いています
ご意見などお寄せ願います。

津房地区まちづくり協議会だより

～心かよい 人が輝く ふるさと つぶさ～

第21号 平成29年6月
発行：津房地区まちづくり協議会
事務局：津房地区公民館内
電話：48-2001

29年度定期総会を 開催しました

去る5月23日、夜7時半より、地区公民館にて平成29年度の津房地区まちづくり協議会定期総会を開催しました。

行政から信國和徳副市長と永田雅春安心院支所長が、また、市議会からは釜口孝議員がご臨席賜り、副市長よりは祝辞をいただきました。

菅原会長の一年間を総括しての挨拶始まり、代議員7人中、4人の出席と8人の委任状により、総会の成立が確認されたのち、議長に永田知徳氏が選出され、早速議事に入りました。

一年間の活動内容の報告、自立運営事業、実践活動事業、津房温泉運営管理事業、里のくらし支援事業、毛無尾共有林管理などの5会計について事務局より報告され、監事・河野洋一氏による監査報告がなされ、諮られた結果、報告内容は承認されました。引き続き、平成29年度の事業計画案、収支予算案、取り組み事業案、構成団体の役員交替や本人の申し出などに伴う役員の一部改選案について審議、原案どおりに承認されました。



信國副市長より祝辞



菅原会長による総括と抱負

平成29年度役員一覧（敬称略）

- 会長 菅原 維範（尾立）
- 副会長 佐藤 浩一（五郎丸）
- 菅原 智徳（尾立）
- 臼杵 守（尾立）
- 坂本 昭彦（津小校長）
- 監事 永松 昭乗（楢本）
- 河野 洋一（楢本）
- 事務局 岡 喜久夫（楢本）
- 佐藤 淑子（松本）

【ふるさと振興部会】

- 部会長 田口 憲司（尾立）
- 副会長 小野 清一（丸田）
- 事務局 福田 利文（楢本）

【ふれあい教育部会】

- 部会長 安部 勝行（松本）
- 副会長 濱野 俊久（六郎丸）
- 事務局 山本 哲也（萱籠）

【あんしん生活部会】

- 部会長 松久 正男（若林）
- 副会長 森田 多津雄（川崎）
- 事務局 帯刀 寛次（東椎屋）

【女性部会】

- 部会長 安部 イツカ（五郎丸）
- 副会長 藤田 弘子（中間）
- 事務局 荷宮 みち恵（松本）

【自主防災部会】

- 部会長 佐藤 浩一（五郎丸）
- 副会長 遠嶋 洋司（川崎）
- 事務局 岩男 博之（楢本）

【自治会代表】

- 北部 川中 賢一（尾立）
- 中央 吉武 二十三（中間）
- 南部 山本 和幸（若林）
- 西部 大澤 代忍（松本）

網掛けの方々が新任です
□の方々は担当異動です

28年度事業は、27年度までの事業の継続を基本に進め、高齢者のサポート、地区の生活環境の改善、将来の津房を担ってくれる小学校児童への応援などを主体に展開しました。

特に、地区の重点課題となっている高齢者に対するサポートについては、県の公募事業「大分県里のくらし支援事業」に応募、採用され、180万円の補助金をいただき、活動用の箱バン型軽自動車を購入と、前年度から開始した高齢者の生活支援を趣旨にした、身の周り品の一括保管用「七つ道具入れ」の無料頒布（計120個）に活用しました。

総会では、29年度も引き続き高齢者サポートをはじめ、これまでの取り組み事業を継続する事業計画が承認されました。

また、住民の安全とあんしんに繋がる優先事業にも拘わらず、本格的な取り組みで来たる「自主防災事業」について、今年度は前進させるとの部会長の決意表明もあり、他地区での取り組み事例を参考に、積極的に取り組んで参ります。



総会の様子

宇佐市 “まちづくり懇話会” が地区公民館で開催されま

隔年程度の頻度で開催される市主催の“津房地区向けまちづくり懇話会”が下記の要領で開催されます。宇佐市が進めている主要な施策について市長をはじめ市上層部から説明がなされ、市政を識るうえで絶好の機会となり、また、行政へ地区が抱える課題について提起する良い場ともなります。一般住民が市政を良く理解し、地元の声を施策に反映してもらうために、要望事項や意見を持たれて大勢の地区民各位に参加いただきますようご案内します。

日時：7月27日（木）19:00～20:30 場所：津房地区公民館

毛無尾共有林・管理業務のご報告です

毛無尾共有林（津房地区民の共有）の平成28年度・管理業務内容と収支についてご報告します

【事業内容】

- 1, 27年度実施した間伐事業の続きで、小規模な間伐を実施。
- 2, 全周に境界杭100本を打設。（共有林地を熟知しているひとが健在なうちに、周囲山林との境界を明確にして次世代に引き継ごうとの趣旨で、杭は森林組合より提供、作業を萱籠集落の4人へ委託）

【収支関係】

《収入》	前期からの繰越金	4,176,243円	
	間伐事業収入	105,351円	
	その他収入（利子）	41円	合計 4,281,635円
《支出》	事業費（境界杭追加打設）	41,534円	
	専門委員手当（2人）	24,000円	合計 65,534円

* 4,281,635 - 65,534 = 4,216,101円 が次年度繰越金となります。

おしらせ

5月23日開催の当協議会定期総会に際し菅原維範会長の協賛金として金一封を戴きました。